

**特 集**

能登半島地震から学ぶ 地震から**命**を守るために

～南海トラフ地震に備えて今、私たちができること～

回 覧

ふじ 防 火 NEWS

No.63

編集 富士市消防本部
発行 富士市防火協会
富士市永田町1-100
TEL 55-2859
FAX 53-4633

【写真提供】

石川県ホームページ

令和6年能登半島地震アーカイブ
(提供者:石川県)/CC BY-NC-SA

多くの命を奪った建物の倒壊…

目の前に迫る津波…
恐ろしくてすくむ足…
近所の人々の叫び声が忘れられない…



大切なもの何もかもが…
あと数秒遅かったら自分も巻き込まれていた…



町全体が火の海に…
燃えていくのを見ていること
しかできなかった…
これは現実なのか…

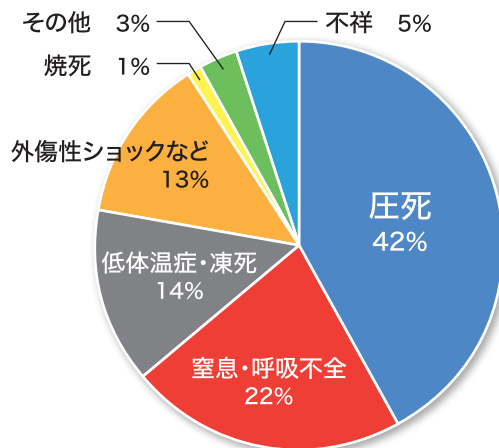


建物の倒壊

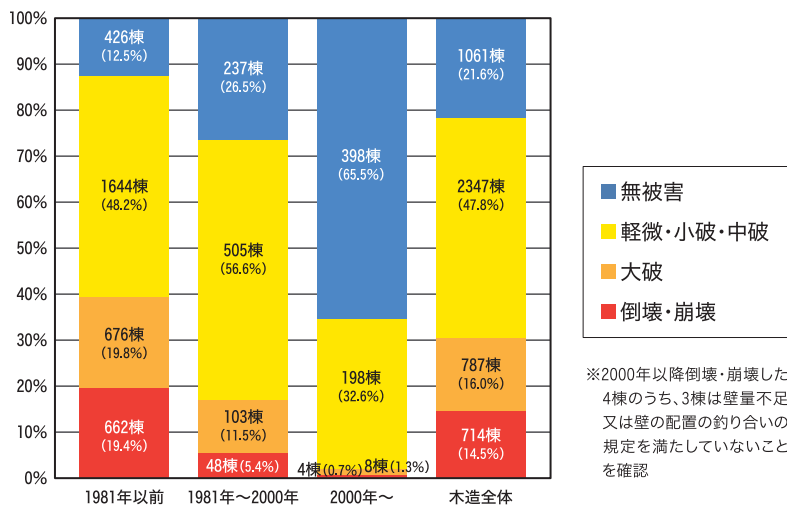


全 壊 6,520棟
半 壊 23,600棟
一部破損 164,665棟

警察庁による検死結果 (3月31日現在)



能登半島地震における建築年別の被害状況

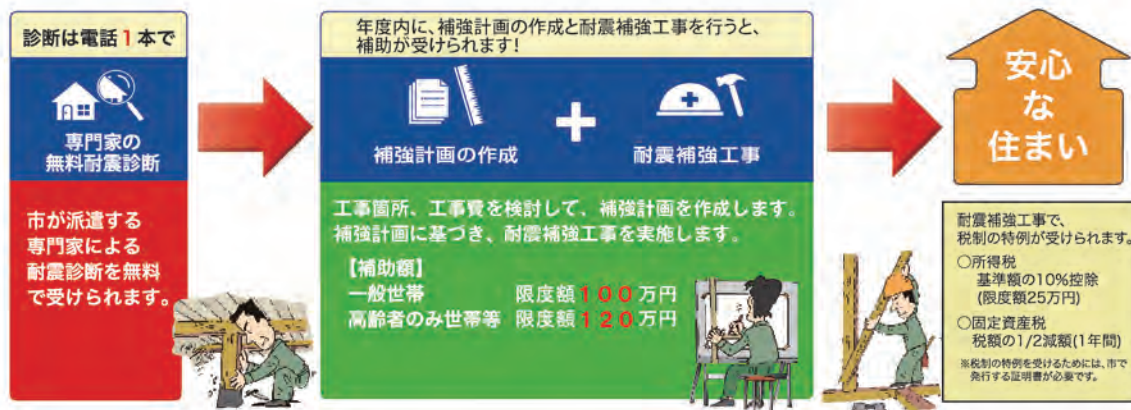


石川県が発表した死者（災害関連死を除く。）のうち、警察が取り扱った228人の死因約4割が「圧死」、約2割が「窒息・呼吸不全」で、多くの人が倒壊した建物の下敷きとなった。

耐震基準の違いで被害に大きな差があります。

木造住宅の耐震対策 (プロジェクトTOUKAI - 0)

昭和56年(1981年)5月31日以前の木造建築は耐震診断を!!



お問い合わせ

建築土地対策課

TEL.0545-55-2911

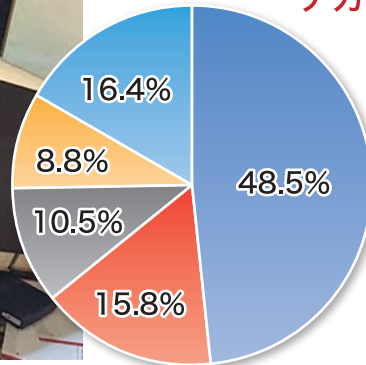
建物内の安全も確認しましょう！

大きな地震では家具や家電が散乱
ケガや命を落とす可能性があります！



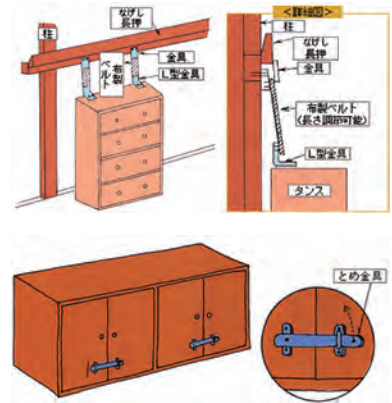
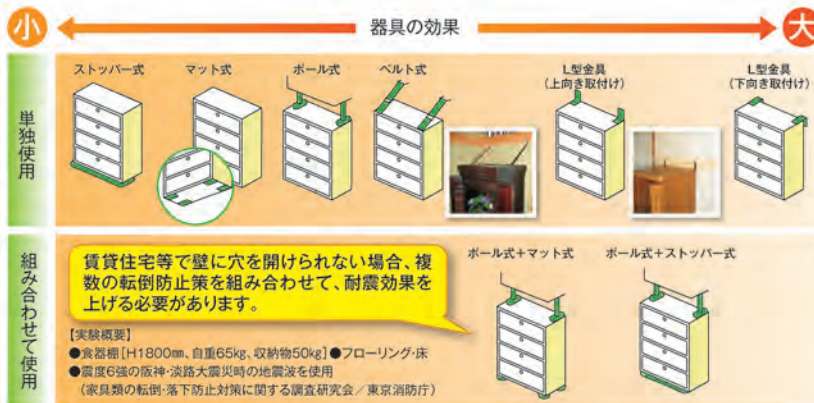
阪神・淡路大震災でケガをした人の原因

ケガ人**43,800**人の原因内訳



- 家具が転倒したため
- 棚の上からの落下物があった
- 落下したガラスが当たった
- 逃げようとしたとき転倒した
- その他

家庭内の家具を固定しましょう！



富士市 家具固定推進事業

これまで各地で発生した地震では、家具等の転倒により多くの方がその犠牲になりました。このような被害を防ぐため、富士市では高齢者や障害者等の世帯を対象に、家具等の固定事業を実施します。



対象者

自ら家具を固定することが困難であり、以下に該当する世帯
①満65歳以上の方のみで構成された世帯
②以下の障害等のある方を含む世帯
・身体障害者手帳1、2級（内部障害については腎臓機能障害と呼吸機能障害の方のみ対象）の交付を受けている方
・療育手帳の交付を受けている方
・介護保険法による要介護3、4、5に認定されている方

固定対象物

たんす、食器棚、冷蔵庫、テレビ等の大型家具や電化製品4点まで

費用

固定器具の取付け手数料は無料ですが、固定器具代は負担金となります。

(参考) L型金具 約600円
ボール式 約2,000円

お問い合わせ先 富士市防災危機管理課 電話55-2715

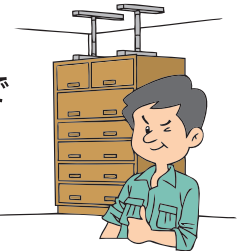
家具固定推進事業

【事業内容】

大型家具や電化製品4点までの固定作業の代行

【対象者】

- 満65歳以上のみで構成された世帯
- 障害等のある方を含む世帯



お問い合わせ 防災危機管理課 TEL.0545-55-2715

津 波

津波によって能登半島で浸水した範囲は、珠洲市、能登町、志賀町でおよそ380ヘクタール(東京ドーム約80個分)に及び、珠洲市では浸水の深さはおよそ4メートルに達したと推定。



土 砂 災 害

今回の能登半島地震では456件の土砂災害が発生した。土砂災害で倒壊したり流失したりした建物は少なくとも34か所にのぼり、このうち85%にあたる29か所は、住民の命などに危害が生じるおそれがある「土砂災害警戒区域」内だった。



災害リスクの確認方法

富士市防災アプリ「防災ふじ」や防災マップを活用し、災害に備えましょう！



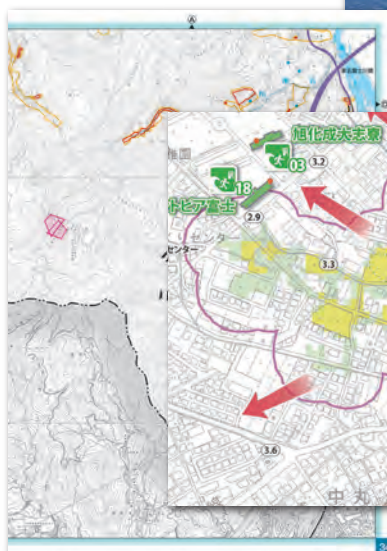
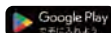
いますく
ダウンロード



iPhoneはこちら



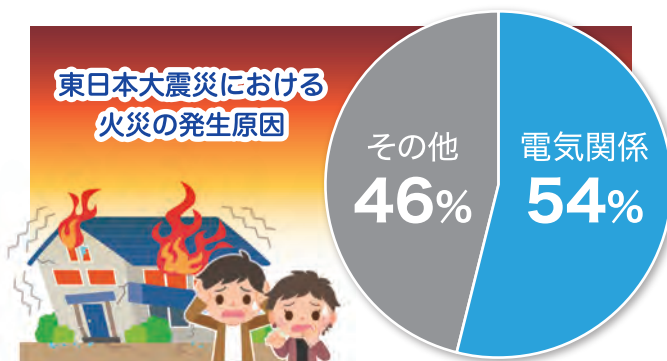
Androidはこちら





地震による火災原因の過半数は電気が原因

近年の大規模地震発生時においては電気に起因する火災が多く発生している。平成23年3月11日に発生した東日本大震災における本震による火災では、原因の特定されたもののうち過半数が電気に起因したものでした。



電気火災を防ぐためには感震ブレーカーを設置しましょう

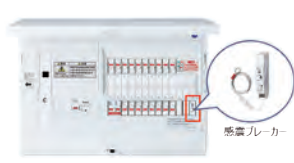


感震ブレーカーとは

感震ブレーカーは、設定値以上の地震の揺れを感知して自動的にブレーカーを落として、電気火災を防ぎます。



分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



地震による電気火災を防ごう！

感震ブレーカー設置費補助金制度

地震発生時における電気に起因する住宅からの出火を防止するため、感震ブレーカーを設置する費用の一部を補助します。

感震ブレーカーとは

感震ブレーカーは、設定値以上の地震の揺れを感知して自動的にブレーカーを落とし、電気火災を防ぎます。

補助制度の概要

対象機器 一般社団法人日本配線システム工学会が定める感震ブレーカー付分電盤(LJWD50007付2)の規格に適合する構造及び機能を有する機器
※コンセントタイプ、漏電タイプは、補助の対象ではありません。

分電盤タイプ(内蔵型)	分電盤タイプ(後付型)
既存の分電盤に取り替えて設置する。 分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、電気を遮断。 ※工事が必要	既存の分電盤に追加して取り付ける。 分電盤に設置可能な外付けセンサータイプで、センサーが揺れを感知し、電気を遮断。 ※工事が必要
約5～8万円 (別途工事費用がかかります)	約2万円 (別途工事費用がかかります)

対象電	補助対象機器・補助金額
富士市内に自ら所有または居住する 既存住宅 に感震ブレーカーを設置しようとする者	感震ブレーカーの購入及び設置工事に関する経費のうち2万円(千円未満は切り捨て)で上限3万円
富士市内に 新築する住宅 に感震ブレーカーを設置しようとする者	感震ブレーカーの購入及び設置工事に関する経費で上限1万円

お問い合わせ 富士市消防本部 予防課 ☎0545-55-2859
f31-yobou@div.city.fuji.shizuoka.jp



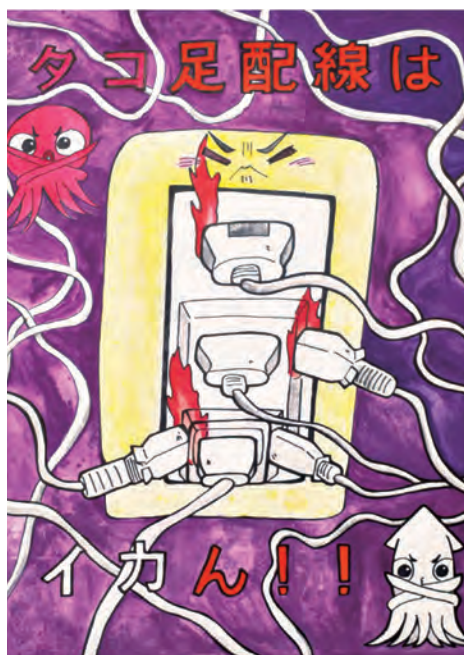
富士市ウェブサイト

感震ブレーカー設置費用を補助します！

消防本部予防課へご相談ください。 Tel.0545-55-2859

令和7年度

防火ポスター市長賞決定!!



小学生の部

富士第二小学校

 わたなべ すずこ
 6年 渡邊 鈴子


中学生の部

吉原第二中学校

 もちづき にこ
 3年 望月 虹香

富士市防火協会では、令和7年度防火ポスターを募集し、小学校の部75点、中学校の部19点の応募がありました。審査の結果、優秀賞12点と佳作18点を選出しました。優秀賞作品の表彰式は消防まつりの会場にて行います。

市長賞を受賞した2作品は、火災予防運動のPRポスターとして、市内各所に配布し掲示します。

優秀賞作品は、富士市ウェブサイトでご覧いただけます。



令和7年秋季富士市火災予防運動

【期間】11月9日(日)から11月15日(土)まで

第39回 消防まつり

【とき】11月9日(日) 9時から

【ところ】富士市中央公園西側広場

遊びにきてね!



Instagramで
情報を発信中!



富士市消防本部
【公式】Instagram

富士市シティプロモーション大使
「さもにゃん」

富士市防火協会 新規加入事業所募集中!

お問い合わせ

富士市防火協会
(事務局) 消防本部 予防課

TEL 0545-55-2859

